

# 公明 災害に強い街へ全力

## 津波対策

神奈川・藤沢市

### 避難ビルの整備に助成

神奈川県藤沢市では2013年7月より、「津波避難ビル」を増やすことを目的に、フェンスの取り付けなどに掛かる費用を助成する制度を始めている。

公明党の渡辺ひとし県議(県議選予定候補)と党市議団(松下賢一郎団長)市議選予定候補)はこのほど、同制度によって津波避難ビルとなった新江ノ島水族館を訪れ、

担当者から話を聞いた。これには、党藤沢北支部の平川和美副支部長と、党藤沢中央支部の、あべ すみえ副支部長(共に市議選予定候補)が行した。

市によると同様の取り組みは、県内で同市のみで、1件につき最大3000万円まで助成。これまでに同水族館のほか、幼稚園や特別養護老人ホームなど計4カ所が新たに

津波避難ビルに認定されている。同水族館の屋上は海拔15メートルの高さにあり、1188人を収容できる。担当者は「この辺りは観光客もよく訪れる。近隣住民だけではなく、多くの人の避難場所になれば」と

語っていた。公明党の、むとう正人市議(市議選予定候補)は、党員の上延悦子さんから「津波避難ビルをさらに増やしてほしい」との相談を受け、12年12月の本会議などで、助成制度の導入を訴えていた。



担当者から話を聞く渡辺県議(左から4人目)と、党藤沢市議団のメンバーら